

皇 學 館

学 園 報

第25号

発行・編集：学校法人皇學館（総務課）
TEL0596・22・6308
伊勢学舎〔法人本部・大学院・専攻科・文学部・教育学部〕
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地
TEL0596・22・0201(代) FAX0596・27・1704
名張学舎〔大学院・社会福祉学部〕
〒518-0498 三重県名張市春日丘 7 番町 1 番地
TEL0595・61・3351(代) FAX0595・61・3350
高等学校・中学校 三重県伊勢市楠部町138
【高校】〒516-8577 TEL0596・22・0205(代)
【中学】〒516-8588 TEL0596・23・1398(代)

●今号の注目記事

1 面
第45回卒業式
希望を胸に708名が巣立つ

2 面
アメリカ短期海外研修&ホームステイプログラム体験者インタビュー

3 面
35名が京都の老舗で職場体験

4・5 面 学生責任編集ページ
映画「半分の月がのぼる空」
映画隊が伊勢にやってきた！

6 面 高校・中学
中・高卒業式を挙行

7 面
学生と伊勢市職員が
環境ミーティング

8 面
教育学科 4 年生
卒業記念ミュージカル

●連載

2 面
皇學館人物列伝⑥
坂村真民

3 面
リレーエッセイ 私の学生時代
叶 俊文 (社会福祉学科教授)



式後、晴れ晴れとした表情の卒業生たち。後輩たちからは惜しみない拍手が贈られた。



学位記を授与される田中天美君。

両宮へ参拝。内宮では御垣内へのお参りが許可され、学生たちは緊張しながらも清々しい面持ちで参拝していた。

午前十一時半過ぎに始まった式典では国歌斉唱、令旨奉読に続き、学位記・修了証書の授与、賞状授与が行われた。学長式辞では伴五十嗣郎学長が数ある大学の中でも、折りにふれ天照大神を拝むことを恒例とする大学は本学をおいてほかにない」と語り、神道を中核とする建学の精神を一貫して標榜し、その教育と実践に努力し続けてきた点にこそ皇學館大学の特徴や独自性があり、卒業生諸君はこの点を改めて自覚した上で母校皇學館大学とその卒業生であることに大きな誇りと自信をもって社会へ船出していただきたいと話した。

教育学科四年の伊藤恵梨香さんは御垣内へ参拝できたことに触れ、「入学式の際にお参りの作法を教えていただいたから四年の月日が流れたんだ」と感慨深げな様子。思い出に残った出来事として「卒業記念ミュージカル」を挙げ、四年間仲間と共に学んで築いてきた友情や信頼関係があったからこそ成功したと話した。

思い出とともに社会へ羽ばたく

来賓祝辞では鷹司尚武神宮大宮司御代理の田米治氏が壇上に立ち、「このような歴史と伝統に輝く大学での得難い経験は今後の人生を歩んでいく上において最も貴重な財産になると確信している」と鷹司大宮司からのお言葉が読み上げられた。

その後、小串和夫館友会会長御祝詞、在学生総代送辞、卒業生総代答辞に続き、校歌を斉唱。滞りなく式典は終了した。

映画「半分の月がのぼる空」キックオフイベントを開催！



主演を務めた俳優たちとの記念写真。



詳しくは4・5面を参照！

伊勢市出身の橋本紡さんが書いた小説『半分の月がのぼる空』が映画化され、四月三日の全国公開を前に、撮影の舞台となった本学にてキックオフイベントが開催された（文化庁等主催。映画公開と同時に台詞を伊勢弁に替えた単行本も新たに発行。監修に国文学科三年の山口麻衣さんがあたるなど、縁の深い作品となった。

現役教員でありながら大学院文学研究科修士課程教育学専攻を修了した玉田尚子さんは、「この三年間、一流の先生方のご指導と優しく尊敬できる人柄に接し、得られたものが多かった」と語り、カウンセリング法や特別支援教育など、この大学で学んだことを現場で生かしたい、と意気込んでいた。

コミュニケーション学科四年の芝田行央さんは「授業や英国への短期留学を通して物怖じせず人と話せる度胸がついた」と語り、卒業後は希望していた県内企業の営業職に就くことができた嬉しそつに話していた。



3月17日に行われた授賞式の様子。

本学では、平成二十四年に創立百三十周年・再興五十周年を迎えるにあたり、皇學館をイメージしたロゴマークデザインを公募。教職員、学生・生徒・卒業生などから計三十二点の応募があり、その中から文学部国文学科三年山口麻衣さんの作品が選ばれた。



決定したロゴマークは、川の流れるイメージをラインに青色は清らかな五十鈴川の流れを、緑色は瑞々しい倉田山の緑を表しており、「自然との共生のなかで皇學館大学が未来へと続いていくことの願いを込めました」と山口さん。

梅の花が咲き、寒さが戻る。花冷えというには、一カ月余り早い。日本の四季は、歳時記に歩調を合わせ始めたのかも知れない。冗談はさておき、西行法師が「願はくは花の下にて」と詠んだ桜の咲く春は、陰暦「如月の望月のころ」であった▼学業を終えた卒業生の瞳の輝きを忘れない。恒例となった教育学科四年生有志による卒業記念ミュージカル「青い鳥くぼくらの見つめた幸せ」を観て目頭が熱くなった▼独逸文学者・松本道介氏の『極楽鳥の愁い』（鳥影社）に「欧米文明の行きつまり」が説かれていたのを、面白く読んだ。「西洋には『無』が存在しない」という。顧みれば、近代は「自我」「主張」が肥大化した時代である。そして、今、人は自然をも支配しようとする▼今日から、一人で旅立つ君に、どこかで君を待つ人が居ることを。「さようなら」と言う前に、雪解けの向こうには、青い鳥が待っていることを。心を「無」にすれば、君を待つ者の声が聞こえるだろう。いい日旅立つ君に……。皇學館の大きな翼が、世界に飛翔する人材の輩出に繋がることを信じて、諸君の旅立ちを祝福しよう。

平成21年度 学位授与式 ●総代・各種表彰者・送辞・答辞

総代	文学研究科博士前期課程神道学専攻	田中 天美
	文学研究科博士前期課程国文学専攻	河合 裕好
総代	文学研究科博士前期課程国史学専攻	大友 重二
	文学研究科修士課程教育学専攻	玉田 尚子
総代	神道学専攻科神道学専攻	皿海 宏則
	文学部神道学科	内海 勝也
総代	文学部国文学科	磯田 萌
	文学部国史学科	多田 圭介
総代	文学部教育学科	竹内 章子
	文学部コミュニケーション学科	野中 舞子
総代	社会福祉学部社会福祉学科	奥岡 さやか
恩賜奨学賞	文学部神道学科	足野 智美
	社会福祉学部社会福祉学科	横山 晃一
大宮司賞	文学部国史学科	南 かおり
	社会福祉学部社会福祉学科	柴田 弘美
理事長賞	文学部コミュニケーション学科	小谷 由記
	社会福祉学部社会福祉学科	山本 菜穂
学長賞	文学部教育学科	川嶋 将大
	社会福祉学部社会福祉学科	濱田 桂果
統理賞	神道学専攻科神道学専攻	鳥羽 良明
	文学部神道学科	神守 昇一
長谷奨学賞	文学部神道学科	山田 大輔
	文学部国文学科	村田 直
送辞	文学部国文学科 3 年	原 寿則
	社会福祉学部社会福祉学科	白山 水希
答辞		



体験者インタビュー

日米の違いに触れた十七日間
アメリカ短期海外研修&ホームステイプログラム

本学ではライトハウス・キャリアエンカレッジ株式会社と提携し、十八泊二十日のアメリカ短期海外研修&ホームステイプログラムを実施した。参加者は十三名。同プログラムでは一般の家庭にホームステイしながら現地の企業や学校で実際に働く機会があり、それぞれに貴重な体験をしたようだ。

参加しようと思ったきっかけは何ですか？

教育学部二年 成川沙紀さん(以下、成)

小学校の先生を目指しているのですが、日米の教育の違いを見つけたというのが一番の動機です。

教育学部一年 島谷菜々子さん(以下、島)

英語力を試してみたかったからです。アメリカの教育の現場にも興味がありました。



現地の幼稚園で研修する島谷さん。

研修はどうでした？

成●幼稚園の補助教員として、九時〜十四時まで

子どもたちとふれあいました。それ以外の時間は、ホストファミリーや子どもたちを幼稚園へ迎えにきた親と出かけたり…。現地の人たちとの交流を楽しみました。

島●午前中は小学校、午後は幼稚園での補助教員をしました。私は生活の中でできるだけ皆さんの会話をするように心がけていました。Yes/No

苦勞したことは？

島●算数を教えるときに英語での専門用語の言いまわしが分からず、苦勞しました。理解してもらうためにノートに絵や図を書いたり…。いろいろな教え方を工夫しました。

日本との違いに何か気づきましたか？

成●学校で一人の先生の負担が日本よりも少ないと思います。二十人前後



成川沙紀さん
(教育学部2年)



島谷菜々子さん
(教育学部1年)

この研修で学んだこと、身についたことは？

成●自分の意思を伝える重要さを学びました。日本で通用する「曖昧さ」が向こうでは、まったく通用しない。難しいですが、日本のスタイルに合わせた、自己主張を意識するようになりました。

島●プログラムをやり遂げたことで自信と度胸が付きましました。また異国の地で教えた経験は、きつとこれからの人生で役立つと思います。

第二回「皇一グランプリ」を開催！

社会福祉学部「チーム漢」が優勝

一月二十三日、伊勢学舎四号館四三二教室にて皇學館大学ビジネスフロンコンテスト公開プレゼンテーション大会(通称皇一グランプリ)が開催された。三重県産業支援センターの助成を受け開かれた同大会は去年の名張学舎に続き二回目。今回は現代日本社会学部開設を記念し、伊勢学舎での初めての開催となった。

審査員は学外四名、学内一名の計五名。武田秀一氏(武田経営研究所代表、経営コンサルタント)、美濃泰夫氏(三重県産業支援センター)、三田泰久氏(伊勢市産業支援センターインキュベーションマネージャー)、前川尚三氏(本学社会福祉学部附置地域福祉文化研究所研究嘱託)、そして、本学の田浦雅徳准教授(文学部国史学科)らが名を連ねた。各組は五分



受賞を喜び出場者。

一位 チーム漢

「セカンドライフインターンシップ」漢たちの家事講座」

二位 空き店舗活用サ

「飛び出せ! 松阪どんぶりプロジェクト」(松阪商業高校三年生 小泉摩也伽、松倉麻衣、山尾麻貴、吉川紗也香)

「透析生活サポート」これら(本学社会福祉学部三年生 小島美智)

審査員を代表して田浦先生より表彰が行われた。なお、副賞として一位には七万円分、二位は三万円分、三位には一万円分の図書カードが贈られた。

同大会は来年度も開催する予定であり、関心を持つ高校生・大学生の皆さんは今のうちから地域活性化に結びつくビジネスプランのアイデアを温めておいてほしい。

皇學館 人物列伝 6

坂村真民

さかむらしんみん

「念ずれば花ひらく」の国民詩人
詩を通じて世界平和を希求

「念ずれば花ひらく」や「二度とない人生だから」等で知られる氏から「伊勢の海と山と川が、私に大きな影響を与えた。友人たちにも思われ、桜井勝之進さんとは席が前後で仲がよかった」とお聞きしたことがある。明治四十二年に熊本県玉名郡に生



さかむらしんみん◆熊本県玉名郡生まれ。神宮皇學館卒業。詩人。「坂村真民全詩集」「自選坂村真民詩集」「詩集 朴」「随筆集 念ずれば花ひらく」「随筆集 生きている力がなくなる時」など著書多数。仏教伝道大賞、愛媛県功労賞、熊本県近代文化功労者賞、砥部町名誉町民賞等受賞多数。一九〇九年(二〇〇六年)。(写真提供/株式会社知出版)

まれ、父も小学校長であり、自然に教員の道に進まれた。当時の神宮皇學館は、官立の中でも最難関であったが全国一授業料が安いので進学したとのこと。卒業後、熊本で教員になったが流行歌も手掛け、東海林太郎のデビュー曲「恋の並木路」を作詞して感謝されたというエピソードもある。学生時代から短歌を始め、岡野直七郎門下で二十年間取り組んだ。しかし、自分の思いを伝えられ

るのは詩であると決意し転じることになる。歌人仲間の県立高校長より愛媛に招聘され、教員の傍ら、個人詩誌「ペルソナ」を創刊し四十一歳で詩人として出発する。いくつかの県立高校の校歌の作詞も手掛けている。詩集も次々と出版されていくが、増刷が間に合わないほどで、詩集でこれほど売れるのは全国的に見ても珍しいところである。

全国に大勢の熱烈なファンを持つ真民詩は、氏の求道的な厳しい自己鍛錬に裏打ちされたものだからこ

私学に転じていた同校長より、定年と同時に再度招聘され、新田高等学校に赴任する。四千人を擁するマンモス校の、文武両面に活躍する男子校の生徒たちに「真民先生、真民先生」と慕われた。朝鮮の学校や県立高校の生徒たちも、時に、教科書を離れた授業に魅了されたのであろう。以後七年間同校で教鞭をとられ、その縁で、小生も卒業と同時に赴任し、九十七歳で天寿を全うされるまで三十数年にわたる教えを請うことになる。

「ペルソナ」は、十数年後「詩国」と改題され四十数年に亘り、毎月欠かさず発刊された。しかも、全国千二百名の読者に「詩国」を折りたたみ、封筒に入れ、宛名も一人一人手書きで送る。読者からは、郵送用の切手だけ受け取る。一遍上人の「六十万人決定往生」の賦算を継ぐ思いで続けていると言われたが、真民のできないことである。

新田青雲中等教育学校元教頭 子川明治
国文学科第六期(昭和四十六年三月卒)

三十五名が京都の老舗で職場体験

第二回 職場体験付講座「京都の老舗①」

二月十二日に本学就職課の主催による「職場体験付講座」の第一回「京都の老舗①」が実施された。

これは就職活動の支援を目的として企画されたもので、伝統産業や京都文化に興味のある学生を京都の代表的な老舗企業に案内し、各企業のトップの方から講話を承ることで、教養や見聞を広め、就職への機縁をつくり、各自の就業意欲を高めようというものだ。

当日は起案者の新田均神道学科教授（四月より現代日本社会学部所属）のもと、三十五名が伊勢弥先生（現代日本社会学部准教授・予定）が「京都の文化と産業の学び方」をテーマに講義を行

った。

最初の訪問地は、京銘菓株式会社 鶴屋吉信。ここからは宮川泰夫・現代日本社会学部・学部長（予定）も合流。代表取締役の稲田慎一郎氏より「京菓子とお店の歴史」についてご講義をいただいた。

後、店舗を見学させていただいた。一階の喫茶室で茶室と茶庭を眺めながら、一同美味しいお茶菓子とお抹茶を頂戴した。次は、神祇・仏式装束「株式会社 井筒」へ。代表の井筒與兵衛氏の案内にて店舗から「風俗博物館」へ赴き、源氏物語「六条院」の一部が四分の一の縮尺で再現されている展示室などを巡りながら王朝文化を堪能し、一同

驚きの連続となった。

三番目は京町家の美術館「紫織庵」を開設されている和装業「株式会社丸栄」へ。大正十五年竣工の書院にて代表取締役の川崎栄一郎氏よりご講義があり、大正デザインを復刻した着物や各室の調度の解説など、京都の旦那衆の文化を学ばせていただいた。

参加学生からは「初めて知ったことがたくさんあった」「社長の個性や情熱に心を打たれた」「個人で訪問したのでは得られないことを紹介してもらえた」「一流のものを扱っていらっしゃる方々の姿勢にぞくぞくとした」などと感動のレポートが寄せられた。

それぞれの見学先の皆様には心より感謝申し上げます。



京菓匠「株式会社 鶴屋吉信」にて、店舗の展示を担当の方から伺う。



神祇・仏式装束「株式会社 井筒」にて、井筒與兵衛氏のご案内をいただく。



京町家とじゅばんの美術館「紫織庵」にて川崎栄一郎社長のお話をいただく。

けるとともに、今後も京都をはじめとして大阪・名古屋・東京などの文化社会に貢献できるよう、

企業との交流を深めることで本学学生がますます



手前はアンカー（第6区）として力走する副主将・川村幸夫君（教育学科2年）。

シード権を獲得！ 第64回 名岐駅伝

二月七日に開催された第六十四回名岐駅伝競走大会において本学駅伝競走部が三十五の参加チームの中で十四位にランクイン。大学では三位と好成績をおさめ、今回のシード権を得る快挙を成し遂げた。

山内優樹監督は「部員が十八名と層が厚くなり、切磋琢磨できる環境が整ってきた」と満足的面持ち。また、「前半に元気のいい一年生を配してリズムを作り、後半を安定感のある上級生でかためた作戦が功を奏した」と大会内容を振り返った。三区を走り大学生の

が十八名と層が厚くなり、切磋琢磨できる環境が整ってきた」と満足的面持ち。また、「前半に元気のいい一年生を配してリズムを作り、後半を安定感のある上級生でかためた作戦が功を奏した」と大会内容を振り返った。三区を走り大学生の

中では区間トップタイムをたたき出した谷崎晃司君（教育学科1年）は「最初からスパートをかけた」と話し、年末年始の休暇中も日々二十キロを走り込むなど自主練習に励み、大会まで好調を維持できたことが好走の要因となった。キャプテンを務める相田達哉君（コミュニケーション学科3年）は「うちのチームはチームワークの良さが魅力。上下関係がなく、スラングや悩んだ時など気軽に相談できる環境がいり走りにつながっていると思う」とチームの特徴を話した。

次なる目標は六月に行われる全日本大学駅伝大会の予選において東海地区で一位になること。部として本格始動してから二年。その成果は着実に実ってきている。

教員免許更新講習を開講 伊勢・四日市の2会場で8月中旬から

本学では伊勢・四日市の2会場で下記の通り講習を実施する。講師は本学教員のほか著名講師を招き、近年の教育課題について講義をする予定。受講定員はそれぞれ150名程度とし、受付は先着順。定員になり次第受付を締め切る。受講の手続きや詳細については決定次第ホームページ上に掲載する。

開講場所・開講日・時間数	
伊勢会場	皇學館大学 伊勢学舎 平成22年 8/19(木)・20(金)・23(月)～25(水)
四日市会場	じばさん三重 平成22年 8/19(木)～21(土)・23(月)・24(火)

主な講師と講義内容

- 伊勢・四日市の両会場
- 加藤十八 中京女子大学名誉教授・本学非常勤講師
「生徒指導」 規律ある生徒指導（ゼロトレランス）
- 岩崎正弥 建築家・本学現代日本社会学部准教授
「伝統と文化の理解」 日本の文化の学び方
- 石井昌浩 元国立市教育長・教育評論家
「教科内容の充実（道徳）」 戦前・戦後、わが国の道徳教育
- 池田哲之 鹿児島女子短期大学教授
「教育政策の動向について」 改正教育基本法と新学習指導要領
- 四日市会場
- 高橋史朗 明星大学教授
「教職についての省察」 学校を巡る状況変化と専門職たる教員の役割

講習に関する照会先
皇學館大学 学生部 教職支援室
TEL ●0596-22-6049 E-mail ●kyosyoku@kogakkan-u.ac.jp
FAX ●0596-27-1704 ホームページ ●http://www.kogakkan-u.ac.jp

私の学生時代

アイデンティティ・クライシス

社会福祉学科教授 叶 俊文
筑波大学大学院修了



みなさんは「アイデンティティ」という言葉を知っていますか。この内容を知ったのは二つ目の大学に通って心理学の授業を聞いているときでした。自我同一性あるいは存在証明とも訳されます。これに悩んだ状態を「アイデンティティ・クライシス」と言います。このアイデンティティ・クライシスが一つ目の大学で私に起きた。山形の田舎から東京のマンモス私立大学に入った私は、ひとつの学部だけなのに一万人近い学生のいるキャンパスに放り込まれました。入った学科は数学科です。そこだけで百名ぐらいの一年生がいました。高田馬場の三畳の下宿横には神田川から電車を使い、最寄駅から学部までの道を歩いていると麻雀に誘われたり、喫茶店に誘われたりして、キャンパスに着かないこともありました。学部への通人も人・人・人です。ものすごい人の流れの中で「俺はいつか何なんだろう」「俺は毎日何してるんだろう」と考えることがありました。授業では先生方が数式をずっと書き続ける。学生はそれ

を写すだけ。帰りは新宿で飲んで、新大久保の友達の家まで歩いて、途中の電信柱に隠れている方を避けて通り、また飲んで。正に、アイデンティティ・クライシスだったと思います。学科の中でも、そうした仲間がたくさんいたように思います。（この年、サザン・オールスターズが登場）そんな生活をしながら迎えたゴールデンウィークに山形へ帰り、高校の担任の先生に会った瞬間に「お前、辞めようと思ってるな」と……。凶星でした。この辺りから、「自分はなぜ大学に行くのか」を考えるようになり、「お前は教員志望だったんじゃないのか」と自問自答したことを覚えています。その後、半年で学部を退学し、東京で二度目の受験勉強に入りました。下宿のおさんに言われたことは「さまよえるうちは、さまよってもいいんじゃないか」の一言でした。この言葉には救われました。半年後、二つ目の大学に合格。あの時のアイデンティティ・クライシスは必要だったと思っています。みなさんは、どうですか？

撮影&イベント フォトグラフィー 映画隊が伊勢にやってきた！

イベント当日の2月13日は
全国から“半月ファン”が来場。
原作者である橋本紡先生を中心にトークショーや
シンポジウムが開催された。



●撮影

昨年の5月4日から三重県内、伊勢市内各所で撮影が開始された。本学からは約200名の学生がエキストラとして参加したほか、2シーンの舞台として登場。5月5日に2号館231教室で入学試験のシーンが、同月20日には記念館前のロータリーにおいて合格発表シーンが撮られた。



●ロケ地・虎尾山

ストーリーの中でも重要なシーンに登場する「砲台山」のモデルとなった虎尾山(尾上町)。今では全国からファンが訪れ、聖地となっている。現在はNPO法人「自利利他」の山本雅則代表らが中心となり、ファンへのサポート、交流などが活発に行われている。



砲台山のモデルとなった虎尾山に登りました。標高約51mと意外に低いのですが、頂上からは景色が一望でき、神宮の森と伊勢の町並みのコントラストがとても綺麗でした。実際に塔の前に立ってみると、まるで作品の中に入り込んだみたいにして感概深くなりました。現在、虎尾山に繋がる道や山頂は整備がされていて気軽に登れるようになっています。皆さんもぜひ訪れてみてください！ 中川綾子

21年間伊勢に住んでいながら、今回はじめて虎尾山に登りました。きれいに整備された登頂ルート、山頂の塔に置かれた小説ゆかりの品々や何冊ものノートなど、この山全体には作品への想いが溢れていました。作中での舞台はファンや伊勢の人々にとっても特別な場所になっていることを感じました。『半月』という作品が多くの人に愛され、影響を与えていることを実感した一日でした。 山口麻衣



山田赤十字病院での撮影風景。

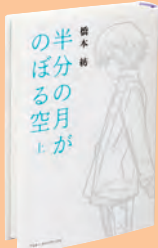
●シンポジウム

橋本先生をはじめ深川監督、主人公の裕一を演じた池松壮亮さん、里香を演じた忽那汐里さん、「半分の月がのぼる空」実行委員会委員長の山本雅則さんが壇上にのぼり、さまざまな質問に答えていた。開場時間が近づくと記念講堂前広場には長蛇の列ができ、半月ファンの多さを物語っていた。



映画 & 単行本紹介

セリフを伊勢弁に替え単行本化
劇場公開と同時に発刊！
『半分の月がのぼる空(上)』



4月3日発売

著者 ● 橋本紡
定価 ● 1,680円(税込)
発行 ● アスキー・メディアワークス
発売 ● 角川グループパブリッシング
※下巻は 5月25日発売予定

4月3日から全国ロードショー！

映画のあらすじ——高校生・裕一(池松壮亮)は、入院先で心臓病を患った美しい少女・里香(忽那汐里)と出会う。次第に心魅かれていく裕一と里香。里香もまた、外の世界を見せてくれる裕一に思いを寄せていく。一方、2人が入院する病院の医師・夏目(大泉洋)は医者でありながら最愛の妻を救えなかった失意から脱け出せずにいた…。



©2010映画「半分の月がのぼる空」製作委員会

それぞれの想いが向き合った時、物語は新たな顔を見せはじめる…人を愛することを真正面から捉え、愛することの貴さを描いた感涙必須の感動作。



●トークショー

「橋本紡先生とふるさと伊勢」と題して行われたトークショー。映画を見ての感想を問われ、「伊勢という町がもうひとつの主人公になっている。1000人のエキストラの方々をはじめ町全体のパワーが作品に厚みをもたらしてくれた」と感慨深げに話した。



●プレス発表

トークライブ前に行われたプレス発表。「映画を通してどんな思いを伝えたいか」との質問に池松さんは「恋愛だけではなく、命の重みや今の人々が忘れていている感情がたくさん描かれている。見てもらう側としてこういうことを感じてほしいと決め付けたくはないが、自信を持って薦められることだけはたしか。半月ファンに胸を張って見せられる」と話していた。全国公開に向けての意気込みを聞かれた忽那さんは「伊勢の人々をはじめこの映画に関わった人たちと丁寧に作った作品。楽しんでみてください」と話した。

クローズアップゼミ 研究室探訪6



神道学科教授
本澤雅史ゼミ

私の主な担当科目は、「古典講読Ⅲ(延喜式祝詞)」「祝詞作文」「祭式及び同行事作法」ですが、ゼミでは万葉集を研究対象としています。私と万葉集との出会いは、昭和52年に本学国文学科に入学し、2年生の演習で「上代文学演習」(粕谷興紀先生)を受講したことに始まります。一人が一首を担当し、まず本文批判をし、訓読を確定し、さらに研究史を調べて問題点を見つけ、そして歌の解釈をするという方法を学びました。

本居宣長は「古の道をしらんとならば、まづいにしへの歌を学びて、古風の歌をよみ、次に古の文を学び

て、古ぶりの文をつくりて、古言をよく知て、古事記日本紀をよくよむべし、古言をしらでは、古意はしられず、古意をしらでは、古の道は知がたかるべし」との師・賀茂真淵の教えを受けて、その教えに従って「萬

万葉集をよく学ぶべし

葉集をよく学ぶべし」(うひ山ぶみ)と説いていますが、神道を学ぶにあたっても、この教えは傾聴すべきでしょう。考察対象の広い神道学にあつて、言葉の研究は、まことに小さなささやかな営みですが、その営み

がおろそかであつたりすると、いかに壮大な論を打ち立てたとしても、土台が崩れることもあります。神祇、神社、祭祀等の研究に当たっては、まず、神祇や祭祀関係の言葉の基本的意味を正しく把握し、その上でさらにその言葉の宗教的あるいは象徴的意味を探る必要があります。

そこで、私のゼミでは、古代の神祇・祭祀語彙について基礎的研究能力を養うとともに古代日本の宗教についての理解を深め、神道の基層的信仰及びその歴史的展開を探ることを目標としています。



4/3(土)から全国ロードショー!
伊勢の「進富座」では3/27(土)より先行上映 **109シネマズ四日市、ワーナー・マイカル・シネマズ津 他**

映画「半分の月がのぼる空」

地元公開キックオフイベント開催!

伊勢市出身の作家・橋本紡氏原作、累計140万部を突破した恋愛小説『半分の月がのぼる空』が映画化。その公開を前に、ロケ地の一つである本学伊勢学舎において2月13日、キックオフイベントが開催された。イベントには橋本先生のほかに深川栄洋監督、主演の池松壮亮さん、ヒロインの忽那汐里さんらが来学。会場には500名を超える幅広い年齢層の“半月ファン”が詰めかけ、盛り上がりを見せた。

原作者・監督に 学生記者が突撃インタビュー!

(学生記者)

山口麻衣(国文学科3年)●伊勢市出身。『半分の月がのぼる空』の単行本化にあたり伊勢弁の監修を担当。
中川綾子(国文学科3年)●志摩市出身。『半分の月がのぼる空』以外にも橋本先生の作品を愛読。

山口●今日はよろしくお願いいたします。さっそくですが、映画化にあたりましておふたりにとって印象的なシーン、欠かせない場面などがあればお聞かせください。

橋本●印象的だったのは、新道のシャッター通りを男の子たちが疾走するシーン。実際に僕もやっていたので……。あの場面を見た瞬間、「ああ、僕がいる」って思いましたね。

深川●原作を読んだとき、先生が昔を思い返しながら書いている気がしたんです。それが風景として流れていて、筋は先生が夏目だったらこんな物語になっているんじゃないか、というところから入っています。印象的なのは主人公のふたりが病院を抜け出して山に向かう途中、転んでしまう情けなさ。ハリウッド映画だったら格好よく頂上までたどり着けるんですけど、僕はヒーローになりきれない裕一の普通っぽさが物語の中心になるとしていました。

中川●原作を初めて読んだとき、何を感じましたか。映画化するにあたって苦労した点、工夫したところはありますか。

深川●とても、ピュアな心を持つ男の子と女の子の話ですね。僕らのように少し年を重ねてしまうと人と出会うことで傷つきもするし、別れもするので……。こんなに人と向き合うことのできる時代があったんだなあって。僕は夏目の視点がよくわかったので、裕一と里香の恋愛物語というだけではなく、夏目の視点をどこかに投影したいと思っていました。映画では、2つのストーリーを原作の色を残したまま寄り合わせ、

橋本紡 先生

はしもと つむぐ●三重県伊勢市生まれ。1997(平成9)年、第4回電撃ゲーム小説大賞にて金賞を受賞してデビュー。『リバーズ・エンド』『半分の月がのぼる空』シリーズなどを電撃文庫より刊行している。ほか、『彩乃ちゃんのお告げ』『橋をめぐるいつかのきみへ、いつかのぼくへ』など著書多数。2009年、『もうすぐ』が第22回山本周五郎賞候補作となる。

最後にすべてわかるようにしたのが僕の最大の仕掛けであり、ディレクションです。

命の有り様を 伊勢を舞台に書きたかった

山口●物語が生まれたきっかけは。

橋本●里香の部分のをぞくと、裕一に起きたことは僕の実体験なんです。肝炎で入院して、その日のうちに隣のおじいちゃんが死んじゃって。命ってなくなるんだと初めて気付いて……。最初のきっかけは、命の有り様を伊勢を舞台に書いてみようと思ったから。恋愛の要素は含まれていますが、命というものを軸に少年・裕一がどう生きていくのかを選択する物語になっています。

山口●伊勢でオールロケをして良かった点、また、観光地以外での伊勢の印象はいかがでしたか。

深川●人が、東京人を拒まない。まず、東京の人間がよその土地へ行っって撮影をすると、だまされるんじゃないかって思われるんですね。とくに、東北とか東京から距離が離れれば離れるほどそういうことを言われる。でも、伊勢の人からは僕らのた

めに何かしてあげようとか心を開いてくれているのを感じました。それが、伊勢人のキャラクター、個性になっていると思います。伊勢神宮のお膝元として何百万人もの人を迎え、送り出してきた「おもてなしの精神」が染み渡っているんですね。

中川●伊勢についての思い出やエピソードを教えてください。

橋本●家庭の事情で高校は伊勢ではないところに通っていたんです。でも、友達は伊勢高校や宇治山田高校だったので、みんなと学校へ遊びに行っても「ここは僕の高校じゃないんだ」「何で僕は伊勢にいないんだろう」と思っていた時期がありました。それがトラウマになっているというか、伊勢に対する愛情が僕の中でとても複雑になっていて……。

中川●伊勢で生まれ育ったことが創作活動に影響していると思うことはありますか。

橋本●ここで生まれ育った誇りとコンプレックス、その両方を持ちながら創作活動をしてきたんだと思います。優れた創作というのは右手と左手に必ず違うものを持って、うまくバランスをとることなんです。伊勢は僕にとってその両方を感じられる存在なんだと思います。

山口●今回、単行本化するにあたり全面改稿されたとのことですが、その思いをお聞かせください。

橋本●書いているときから、いつか

深川栄洋 監督

ふかがわ よしひろ●専門学校東京ビジュアルアーツ在学中から自主制作映画を監督。1999年に製作した『ジャイアントナキムシ』、2000年に製作した『自転車とハイヒール』がPFFアワードで入選し注目を集める。2009年『60歳のラブレター』でメジャー監督デビュー。『半分の月がのぼる空』は4月3日(土)全国ロードショー公開。

書き直さなきゃいけないという思いはありました。なぜかという、小説の舞台は20年前、僕が伊勢にいた頃のこと。病院のシーンにしても、昔と違って今は抜け出したりできないはず。そういう意味において、現実を反映した形にしたいと思っていました。加えて、少年少女だけでなく、大人にも楽しんでもらえるものにしたいという気持ちが自分の中にあったので、単行本を作ろうと。その際、映画を見て「これは伊勢弁で書かなきゃ」って思いましたね。

山口●伊勢の言葉についてどう思われますか。

深川●関西弁なのにきつくはないですね。どこか優しい。男性の大阪人と話しているときついんですけど、伊勢弁の男の人たちの言葉には女っぽさを感じますね。おかまっぽいという意味ではなくて(笑)

橋本●小説を書くときは、技法上、セリフだけで誰がしゃべったのかわかるようにするんですね。たとえば、標準語では「なんだよ」「なによ」と男女を書き分けられるけど、伊勢弁は両方とも「なんなん」でしょ(笑)。今回は、あえて「○○」と裕一が言った、と書かなければいけなかったんですよ。

中川●「半分の月がのぼる空」というタイトルにはどんな意味が込められているんですか。

橋本●半分の月には2種類あるんですね。上弦の月と下弦の月。上弦の

月はこれから満ちていく、下弦の月は欠けていく。小説の中で僕はただ〈半分の月〉としか書いてなくて、月の下にいる彼らの運命がこれから満ちていくのか欠けていくのか誰にもわからない、という意味でつけました。そして、半分の月の光はまったく見えないわけではなく、かといって明るいわけでもない。我々は薄闇の中を生きているんだ、という意味もあります。いろんな意味が含まれています。

すべての出会いに 意味がある

山口●最後に学生に向けてのメッセージをお願いします。

深川●周りの監督さんは大学出身の方が多んですけど、僕は専門学校で自主映画を作っていました。お金持ちでも学歴があるわけでもなく、映画監督から一番遠い存在だったんです。ただ、負けたくないという気持ちは強くて、人を喜ばせたい、いいモノを創りたいという野心を持って動き始めたら映画監督になれました。思いが真剣であればあるほど、10年かからないと思います。僕が身をもって体験したことなので、みなさんも自分を甘やかすことなく、楽な方向を選択せずにわが道を探してもらいたいですね。そして、今の時期に出会った本や映画、人などすべてに意味があることを忘れないでほしいと思います。

橋本●恋をしましょう。自分以外の誰か、何かを愛しましょうと言いたいですね。自分より大切なものがある、そう思える相手がいるって本当に幸せだと思いますよ。最近、そういうことに対して人々が臆病になっている気がします。でも、僕は傷ついてもつらい思いをしても踏み出すべきだと思う。心でつかんだものは一生残りますよ。だから、本当の友人をつくってください。本当の恋人をつくってください。それが、僕からのメッセージです。





答辞を読み上げる長岡由莉さん。

三月二十日、平成二十一年度の卒業式がセミナーホールで行われた。春らしい陽気の中、厳肅な雰囲気が始まった。

式典は国歌斉唱、賀陽宮邦憲王殿下令旨奉読の後、卒業生一人ひとりの名前を担当が呼名した。学校長から総代の島田渉平さん（三B）に卒業証書が授与され、特別優等賞は橋爪笙子さん（三A）が、三力年皆勤賞は岸田華一さん（三A）がそれぞれ

それぞれで表彰を受けた。学校長式辞、佐古理事長告辞、山本保護者会長祝辞を賜った。在校生代表として、校友会総務副委員長の中山佳嘉さん（二A）が卒業生への感謝の気持ちを送る言葉を述べ、長岡由莉さん（三A）が溢れる涙を抑えながら最後まで立派に答辞を読み上げた。会場全体が感動に包まれ、卒業生も感涙した。拍手の中、三年生が退場し幕を閉じた。

中学校生活最後の終礼を終えると謝恩会が開かれた。三年間の感謝の気持ちを歌声で披露し、生徒から担任の先生へサプライズのプレゼントが手渡された。そして中学校生活の思い出をスライドショーで振り返った。最初は懐かしさと恥ずかしさで笑い声が上がりましたが、終わりに近づくにつれ涙が溢れた。担任の先生から卒業記念品を一人ずつ受け取り、旅立っていった。

三年間の思い出に感涙 第二十九回 皇學館中学校卒業式



5 賞受賞者。左から浜口さん、森口君、東海さん、森田さん、森さん。

新しい門出を祝福するかのような春の陽光に包まれた三月一日、四十五期生三十四六名の卒業を祝して皇學館高等学校第四十五回卒業式が大学記念講堂にて厳肅な雰囲気の中、執り行われた。無事卒業できたことへの報告と感謝を込めて早朝に神宮参拝を終えていた卒業生たちの入場につき、国歌斉唱、令旨奉読が行われると、式は卒業生たちの三年間を振り返るものと移った。

五賞の受賞者	
神宮大宮司賞	森 茉莉
学校法人皇學館理事長賞	森田 倫果
三重県知事賞	東海 由佳
日本私立中学高等学校連合会会長賞	森口 昌英
伊勢商工会議所会頭賞	浜口 真帆



卒業生総代として答辞を読み上げる中嶋さん。

辞に答える形で、卒業生総代・中嶋実仙さんが答辞を読み、卒業できたことへの感謝と新しい旅立ちへの決意を述べるころには、会場のあちこちで涙を抑える姿が見られた。式後、卒業生たちは在校生やクラブの後輩たちの作る新しい門出を祝う花道を通り、式は無事終了した。

皇 中 NEWS

皇 高 NEWS

皇學館大学出版部 平成21年度 新刊本

書籍注文方法 下記へお電話いただくか、FAXにてご連絡下さい。

TEL&FAX 0596-22-6320

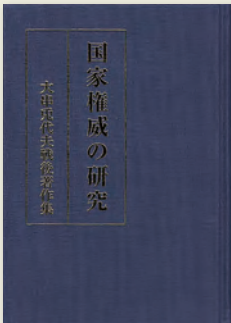
- 書名・冊数・住所・氏名・電話番号をお知らせ下さい。
- お支払いは郵便振込にてお願いします。

出版部ホームページは現在準備中です。



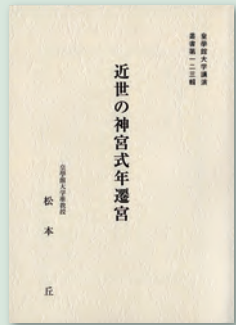
続日本紀史料 第12巻
(平成22年 1 月発行)
史料編纂所 編
A 5 判 869頁
定価14,175円

「続日本紀」を基礎とし、その所収時代の類聚国史・日本紀略等により配列した編年史料。



国家権威の研究
(平成22年 2 月発行)
大串兎代夫 著
A 5 判 460頁
定価4,200円

故大串兎代夫の博士論文集。
(明治大学法学博士授与)



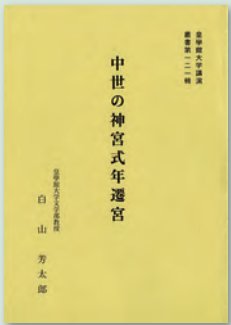
皇學館大学講演叢書 第123輯
近世の神宮式年遷宮
(平成21年12月発行)
松本 丘 著
B 6 判 定価500円

平成20年度伊勢学舎月例文化講座。年間テーマを「式年遷宮」とし、分かりやすく解説。



皇學館大学講演叢書 第122輯
『平家物語』巻第一「祇園精舎」を読む
～国史学と仏教学の立場より～
(平成21年 9 月発行)
多田實道 著
B 6 判 定価500円

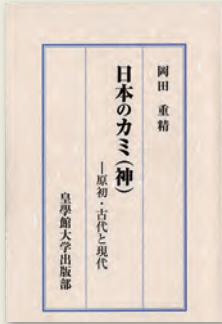
平成20年度名張学舎特別講座。『平家物語』の時代に関する基本的事項・仏教用語を解説。



皇學館大学講演叢書 第121輯
中世の神宮式年遷宮
(平成21年 7 月発行)
白山芳太郎 著
B 6 判 定価500円

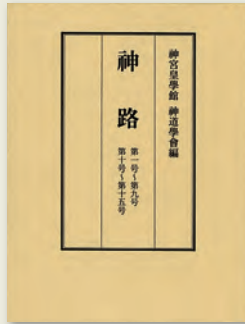
平成20年度伊勢学舎月例文化講座。伊勢の神宮における中世の式年遷宮を分かりやすく解説。

皇學館大学講演叢書



日本のカミ(神)
―原初・古代と現代
(平成21年 8 月発行)
岡田重精 著
新書判 216頁 定価840円

現代社会の変容につれて多様な宗教的・呪術的な現象が渦巻いている状況のもとで、その神観念は拡散して捉えようがなくなっているように感じられる。しかしながら、そこに通底する「日本の神」の「原初的・古代的」な観念を見出そうと試みる。



神路
(平成21年 9 月発行)
神宮皇學館・神道學會 著
A 5 判 計2,099頁
定価14,000円

戦前の皇學館において、神道学会より発行された神道学研究にとって有益な学術雑誌「神路」。創刊号(大正13年)より15号(昭和15年)までを合本して覆刻。「神宮皇學館における神道の研究と教育」(渡辺寛執筆)。
1～9号／1,047頁
10～15号／1,052頁

創立130周年・再興50周年記念事業寄付金
進捗状況

平成22年 2 月28日現在

区 分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗 教 界	634	776,147,000	763,077,000
館 友	716	78,544,000	75,119,000
篤 志 家	44	31,805,000	31,685,000
尊 の 会	1,894	82,626,000	82,626,000
企 業	103	61,985,000	60,845,000
本法人関係	247	57,632,000	57,252,000
合 計	3,638	1,088,739,000	1,070,604,000

学校法人皇學館の周年記念事業募金につきまして、ご協力いただいた方々に心より厚く御礼申し上げます。同時に芳名を掲載させていただきます。掲載は二月二十八日までの到着分とさせていただきます。

長野県 一万円 三重県 一万円	紫芝 光司様
同窓会会員	長谷川明久様
一般 (旧教職員・篤志家等)	幸宏様

皇學館高等学校創立50周年・
皇學館中学校創立35周年記念事業寄付金
進捗状況

平成22年 2 月28日現在

区 分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗 教 界	2	150,000	150,000
企 業	40	4,090,000	4,000,000
一 般 (旧教職員・篤志家等)	15	425,000	425,000
同窓会会員	126	6,553,000	6,553,000
後援会賛助会員	54	880,000	880,000
本法人関係	123	3,645,000	3,570,000
合 計	360	15,743,000	15,578,000

文学部神道学科 三万円 井土 満様	文学部ミニテーション学科 三万円 重藤 将宏様	文学部ミニテーション学科 三万円 横山 武様
-------------------------	-------------------------------	------------------------------

社会福祉学部社会福祉学科 三万円 神田 経二様	教育学部教育学科 三万円 小林 秀夫様	博士前期課程神道学専攻 三万円 森 司様
-------------------------------	---------------------------	----------------------------

個人情報保護に関する法律の施行に伴い、ご芳名・金額等の掲載をご希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。

◆尊の会／7名
◆同窓会／1名

創立一三〇周年・再興五十周年記念事業
皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業
寄付者芳名



学生の発想を 伊勢市の環境政策に

学生と伊勢市職員が環境ミーティング

昨年好評であった伊勢市職員と本学学生との「環境ミーティング」を、今年も伊勢市役所の強い要望で開催した。時は二月二十五日二時、場所は神道博物館会議室、参加者は、環境課の職員など六名と本学深草正博教育学部長及びそのゼミの三、四年生九名であった。まず伊勢市が小学校四、六年生用に作成した「えこのおと」の説明から始まった。市全体の環境状況がよくわかる内容で大変興味深いものであった。が、学生からは「小学生にとっては難しすぎる。もっと子どもに訴える書き方が必要では」とか「パーク&バスライドが別の交通を阻害してい

るのではないか」などの意見が出された。また、他県出身の学生からは伊勢市との比較もなされた。例えば滋賀県からきた学生は琵琶湖に生息する魚の一覧表を示し、伊勢市もこのような図を作成してはと提案して職員の目を見張らせた。その他にも「マイバックを普及させるなら、レジ袋五円は安すぎではないか、もっと高く百円くらいにしたら」という意見も出された。職員の懇切丁寧な説明もあって、実に有意義な二時間半であった。最後に、深草教授が環境問題には現代のみに限



冒頭で挨拶をする深草教授。

近鉄文化サロン・皇學館大学共催 講座のご案内

本学では4月より近鉄文化サロンとの共催による公開講座を開催します。下記お申込要領をご覧の上、ふるってご参加ください。

神道と仏教〈全3回〉

講師 ● 河野 訓 文学部神道学科教授

- 4/10(土)「初期の神仏習合」
- 7/3(土)「神道と道教・仏教」
- 9/25(土)「神道説と仏教」

神道の諸相(2)〈全3回〉

講師 ● 本澤雅史 文学部神道学科教授

- 4/24(土)「森の信仰」
- 5/22(土)「木の信仰」
- 6/26(土)「家の信仰」

日本神話にみられる神々とそのやしる〈全3回〉

講師 ● 白山芳太郎 文学部神道学科教授

- 5/15(土)「八咫大蛇」
- 6/12(土)「国譲り神話」
- 7/10(土)「天孫降臨神話と海幸山幸神話」

【受講料】 全3回
(各回) 会員 1,000円、一般 1,500円

【時間】 15時～16時30分
【会場】 近鉄文化サロン阿倍野
近鉄阿倍野橋駅下車すぐ、[and] 4 階

【お申込についての問合せ】
近鉄文化サロン阿倍野 ☎06-6625-1771
〒545-0052
大阪市阿倍野区阿倍野筋2-1-40 [and] 4 階
受付時間／10時～20時
(日曜・休講日は10時～17時30分)
<http://www.d-kintetsu.co.jp/bunka-salon/abeno/>

近鉄文化サロン

検索

◆特別公開講座

4/17(土)◆
伊勢神宮宇治橋・五十鈴川と文学

講師 ● 半田美永 文学部国文学科教授

5/8(土)◆
『平家物語』巻第一「祇園精舎」を読む ～国史学と仏教学の立場より～

講師 ● 多田實道 文学部国史学科講師

6/5(土)◆
大徳皇女

講師 ● 大島信生 文学部国文学科教授

8/7(土)◆
『源氏物語』と伊勢

講師 ● 中川照将 文学部国文学科准教授

8/28(土)◆
江戸川乱歩と名張

講師 ● 三品理絵 文学部国文学科准教授

【受講料】
会員 1,000円、一般 1,500円

お申込要領

- 毎月、月初めから受講いただけます(一部の講座を除く)。
- 開始月の前月28日までに、受付にて手続きをお済ませください。
- 各講座とも満員になり次第締め切らせていただきます。ただし、一定の人数に満たない場合は講座を中止させていただくこともございます。
- 受講料のほかに材料費・教材費等を頂戴する場合がございます。
- 特別公開講座のお支払いには、コンビニ振込みがご利用になれます(振込手数料別途)。詳しくはお申込時にご確認ください。

遷宮記念講演会のご案内 5月

場所 ● 名古屋市博物館
時間 ● 14時～

第1回
5/1(土)

「神宮式年遷宮の歴史」
講師 ● 井後政安 神道学科教授

第2回
5/8(土)

「お蔭参りと伊勢の神宮
～人々は、なぜ伊勢をめざしたか～」
講師 ● 岡田 登 国史学科教授

縮めくられた。



先輩、
お元気ですか



わたなべ
純枝氏 俳人

私は、皇學館女子短期大学の第一期生である。所謂、団塊の世代の頭の年代で、当時はあちこちに高校、大学の施設運動が起り、その波に乗った一人である。因に高校は第二期卒である。有難い事に私の生まれた熊野の近くに皇學館があった事。国文を学びたかった事等、幸運にも女子短大への入学は渡りに船であった。本来ならば短歌の道に進むべきであろうが、実母が俳句をやっていた影響で私も二十才頃から本格的に俳句を始め、現在に至っている。しかし、皇學館で教わった歌人、春日井廣先生の恩恵は深く、後に、寺山修司氏、塚本邦雄氏との交流の礎となった貴重な方であった。私は三年程前、某巨大な俳句結

社の副主宰に呼び戻され、しばらく、月に約千人の指導に当たっていたが、諸事情の為にこの結社は終刊し、只今は約半分の五百人程の「濃美」と言う新しい結社の代表選者として、何とかお役に立って頂いている。俳句人口の高齢化に伴い、大半は退職後の方々が会員であるが私の様な者が、こうした人生経験の豊富な人々に言葉を教えると言う事は実に怖れ多い事である、日々心を引き絞めている。指導すると言う事は即ち自身の教育であると言う事を肝に銘じて研鑽を積んで行きたい。

俳句を通して、より深く日本の自然と精神を織り、言葉の伝統と言うものを考え、後世に伝えて行ければ幸いであると思っている。

2カ月イベント情報

4月

17⁺ 月例文化講座 名張学舎
福祉施設におけるボランティアマネジメント
◆守本友美 社会福祉学科教授

22⁺ 名張の地域文化を語る会 まちなか研究室事務局(名張学舎)
水と名張文化 ◆櫻井治男 社会福祉学部長

現代日本社会学部開設記念講演会 百周年記念講堂(伊勢学舎)
現代日本と広域観光
◆JR東海相談役・本学特別招聘教授 須田寛 氏

27⁺ ちよっとちよっと講義 まちなか研究室事務局(名張学舎)
伊勢参宮「春の賑わい」—お伊勢参りの歴史と文化—
◆櫻井治男 社会福祉学部長

5月

1⁺ 遷宮記念講演会 名古屋市博物館
神宮式年遷宮の歴史 ◆井後政晏 神道学科教授

8⁺ 月例文化講座 伊勢学舎
伊勢の神宮と式年遷宮 ◆清水潔 文学部長

遷宮記念講演会 名古屋市博物館
お蔭参りと伊勢の神宮
〜人々は、なぜ伊勢をめざしたか
◆岡田登 国史学科教授

22⁺ 神道博物館教養講座 神道博物館(伊勢学舎)
浅間大社の歴史と富士山信仰
◆富士山本宮浅間大社 榎本 佐野雅弘 氏

月例文化講座 名張学舎
子どもにやさしいまちづくり
—(名張市子ども条例)の先駆的意義—
◆榎垣博子 社会福祉学科教授

23⁺ 名張の地域文化を語る会 京都・伏見
日帰り参拝見学ツアー
「御香宮と酒造りの里・伏見」

イベントの時間・申込方法等のお問合せは各学舎まで
伊勢学舎 ☎0596・22・0201(代) 名張学舎 ☎0595・61・3351(代)

◆今号が平成二十一年度最終号になります。今年度は季刊から隔月刊にし、速報性と学生ならではの視点を盛り込んだ紙面構成を意識してまいりましたが、まだまだ改良の余地があると考えています。忌憚なきご意見を聞かせてください。◆学生編集ページは、伊勢市出身の作家・橋本紡さんとインタビュしました。作家らしい豊かな表現の連続に「言葉の力」を感じました。◆平成二十四年に迎える創立一三〇周年・再興五十周年を記念した「こころ」が盛り込まれました。森縁と水書に囲まれて存在してきた本学のイメージがわかりやすくデザインされています。幅広く受け入れられることを願っています。【総務課】

夢のあるストーリーで観客を夢中に

教育学科4年生 卒業記念ミュージカル



ユーモラスな演技と、楽しい歌や音楽に観客全員が引き込まれた。

文学部教育学科四年生有志による卒業記念ミュージカル(通算二十三回目)が三月六・七日の二日間、伊勢学舎記念講堂において開催された。今回の演題は「青い鳥〜ぼくらの見つけた幸せ〜」。市内外から大勢の家族連れが来場し、二日間で二千人を超える観客を前に、吹奏楽の生演奏や合唱に合わせてにぎやかな舞台を繰り広げた。

子どもたちへの思いを脚本に託して

四年間の集大成として、育学科有志による卒業記念ミュージカル。今年

は、「青い鳥〜ぼくらの見つけた幸せ〜」と題し、モリス・メーテルリンク著の「青い鳥」をもとに、オリジナルの世界を描いた。「楽しみながら、身近にある食べ物の大切さや支えあうことの大切さ、家族の温もりを感じ取ってもらいたい」と脚本班。主人公のチルチルとミチルトの国、音楽の国などさまざまな国でいろいろな人と出会い、幸せについて知り、成長していくストーリーで、幸せは自分たちのすぐ近くにあるというメッセージが込められている。

「子どもたちが喜ぶことを一番に考えて、上演ギリギリまで何度も練り直しました」と実行委員長の河邑政彦さん。個性豊かなキャラクターたちも魅力の一つだ。主人公の二人のサポーターには、猫とミナと天のカンタという動物のキャラクターを取り入れ、魔法使いやお姫様、海賊やおぼけなどユーモアのある登場人物たちが、迫真の演技

で会場を物語の世界へ引き込んだ。上演中には、役者が観客に呼び掛けるなど、観客参加型の演出を工夫。

会場全体を使った臨場感あふれる演出

脚本以外にも、客席近くでの音楽の演奏など、観る人を巻き込む工夫がたくさんあった。音楽は「あわてんぼうのサンタクロース」、「おおきなくりのきのした」などおなじみの童謡に、学生たちがオリジナルの歌詞をつけたもの。伴奏、効果音には、吹奏楽による



ミュージカルを作り上げた125名の教育学部有志たち。終了後には、感極まって涙を浮かべる姿も。

約一年間をかけて作り上げたこの舞台。百二十五名という大所帯のため、考え方や価値観の違いによってぶつかることも多く、「みんなの意識を一つにすることが大変だった」と河邑さん。しかし、そのことによって関わり合うことの大切さや楽しさを肌で実感し、信頼関係を築きあげることができたとのこと。

経験を生かして教育の現場へ

二日間の公演を終え、主役・チルチルを務めた久保佑姫さんは「最高の仲間がいたから作り上げられた」と感慨深げ。主役のミチル役を務めた森琴美さんは、春からは愛知県の小学校の教員となることが決まっており、「子どもを第一に考えてきた。今回の経験を教員生活にも生かしたい」と語った。主人公たちが最後、幸せは自分の近くにあることに気づいたように、学生たちも、一緒に作り上げた仲間や過ごした時間の大切さに気づき、新たな旅立ちを前にしてかけがえのない経験になったようだ。

またクライマックスの四人の海賊たちとのバトルシーンでは、約五十名が舞台上で迫力あるダンスを披露し、会場からは拍手とともに主人公たちを応援する声があがり、大変盛り上がった。

魅力溢れる「お伊勢さん」を知ろう

皇學館大学「横丁塾」が開塾

皇學館大学「横丁塾」講座一覧(予定)	
テーマ	講座名
伊勢を知る	「伊勢志摩かるた歌作成体験」～自然や行事を題材にして～
	「横丁紙芝居」～民話・神話をテーマにして～
	平安朝装束体験・雅楽ミニ演奏会
神宮を知る	神域案内
	外国人への神域案内
	車椅子の移動介助
神道を知る	「御師邸「おかげ太夫」」御師の活動の紹介

場 所 伊勢内宮前おかげ横丁
申込方法 事前申込不要。直接会場へ来場。
参加料 無料(原則)
問合せ 皇學館大学 総合企画室 ☎0596-22-6496

「八坂神社奨学金」授与

神社神道の興隆に寄与する優秀な学位論文を提出した大学院(神道学・国文学・国史学)の学生に対し、その学業を奨励する為、八坂神社様より給付される奨学金です。

平成二十一年度 文学研究科博士前期課程神道学専攻 田中 天美

講演会開催のご案内



講師 ◆須田 寛氏
JR東海相談役 本学特別招聘教授

皇學館大学現代日本社会学部 開設記念講演会
入場無料 申込み不要
演題 現代日本と広域観光

「産業観光」の提唱者が、現代日本における観光資源やその活用について語る。

日時 ◆四月二十二日(木) 16時30分～17時30分(終了予定)

場所 ◆皇學館大学 伊勢学舎 百周年記念講堂



NIPPONを動かそう

問合せ 皇學館大学 学長室 教育講演会係 ☎0596-22-6496